



日耳鼻医会

FAXニュース

平成25年11月5日発行 第207号

◎平成25年度医会長協議会案内

下記の通り平成25年度医会長協議会を開催致しますので関係者のご出席をお願い致します。

【日時】平成25年12月1日(日)午後0時半～

【場所】八重洲富士屋ホテル(東京駅近く 03-3273-0220)

【会次第】

第1部 講演 午後0時30分～ 午後1時30分

講師 参議院議員 羽生田俊(はにゅうだ たかし)先生
演題 (未定ですが有益なお話が聞けるとと思います)

第2部 医会長協議会 午後1時45分～午後3時30分

【議題】

報告事項1. 活動報告(平成24年12月～平成25年11月分)

2. 2013年第38回臨床家フォーラム報告

3. 2014年第39回臨床家フォーラム進捗状況

4. 平成25年度公立学校レセプト調査中間報告5. その他協議事項(フリーディスカッション)

1. 日耳鼻医会の存在意義と今後の活動のあり方について

2. 臨床家フォーラムの将来について 3. その他

第3部 懇親会 午後3時40分～ 午後5時

懇親会会費 9,000円

羽生田先生の講演は公開としますが、準備の都合上聴講希望の方は予め事務局までご連絡下さい

(TEL 03-5524-5230 FAX 03-5524-5228)

■集团的個別指導始まる

東京都

関東信越厚生局東京事務所の発表によると、今年度の耳鼻咽喉科診療所の平均点は773点で、集团的個別指導の選定基準は930点以上、対象耳鼻咽喉科診療所は39件。10月より指導を開始するとされている。

■嚥下障害・咳嗽のガイドライン公開

厚生省委託事業のMinds(マインズ)ガイドラインセンターは10月1日付けで嚥下障害、咳嗽の医療提供者向け診療ガイドラインを公開した。

嚥下障害は「嚥下障害ガイドライン - 耳鼻咽喉科外来における対応」(2012年版、編集 - 日本耳鼻咽喉科学会、

発行所 - 金原出版(株)。咳嗽は「咳嗽に関するガイドライン第2版」編集 - 日本呼吸器学会、発行元 - 日本呼吸器学会。これはpdfにてダウンロードが可能。その他「急性副鼻腔炎診療ガイドライン2010年版」作製日本鼻科学会、発行元 - 日本鼻科学会も公開されている。

ホームページはMinds(マインズ)ガイドラインセンター

<http://minds.jcqh.or.jp/n/top.php>

2014年春の花粉飛散予測(第1報)

～今春より少なめ ただし、短期集中飛散に注意～

日本気象協会は、2013年10月9日(水)に全国・都道府県別の2014年春の花粉(スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ)飛散予測(第1報)を発表した。それによると2014年春の花粉の飛散数は、九州から東海地方のほとんどの地域と北海道は例年並みかやや多く、関東から東北地方は例年より少なく、前年(2013年)に比べると、九州から東北地方は少なく、とくに本州の日本海側と関東甲信地方は非常に少ないと予測している。(http://www.tenki.jp/pollen/)

■財務省、診療報酬増に難色 医療費効率化を求める

財政制度等審議会(財務相の諮問機関)の分科会が10月21日開かれ、医療費などの社会保障予算について議論した。財務省は、高齢化などで毎年約1兆円ずつ膨らんでいる医療費の効率化に取り組む必要があると指摘。仮に診療報酬を1%引き上げれば約4200億円の負担増になることから、報酬改定でさらに上積みをする状況にはないとの見解を示した。

財務省によると2010年度の医療費の自然増は高齢化分が約6千億円で、医療の高度化分が約8千億円だった。このため財務省は、新薬の特許が切れた後につくられる安価なジェネリック医薬品(後発薬)の使用促進などを求めている。ただ、来年4月の消費税率引き上げによる薬や機器などの価格の上昇分は、診療報酬の増額で対応する方針。消費税を患者らに転嫁できない医療機関の負担軽減を図る。診療報酬は原則2年おきに見直される。来年度は改定の年で、今年末に向けた予算編成過程で決定する。(共同通信社10月21日(月) 配信)

■電源プラグの点検を通知

10人死亡火災で厚労省

福岡市の医院で10人が死亡した火災を受け、厚生労働省は18日、スプリンクラーの設置義務がない有床診療所や小規模病院などの防火体制や夜間の避難体制に関し、

強化を一層指導するよう全国の自治体に通知した。医療機器の電源プラグの点検・管理にも言及した。

火災は加温器周辺が火元とみられ、加温器は常時電源を入れた状態だったとされる。通知では「医療機器の電源プラグを長期間コンセントに差し込んだままにするとプラグとコンセントの隙間にほこりがたまり、湿気を帯びて発火する恐れがある」と指摘。プラグを時々抜き、乾いた布で拭き取るよう求めた。防火扉は煙の発生などで自動的に閉鎖・作動する構造とするよう要請。休日や夜間は職員が少なくなるため「初期消火に努めるとともに、避難・誘導、搬送体制に特に留意する」とした。

(共同通信社 10月21日(月) 配信)

■医師の強制加入、来年5月迄に具体策検討

日本医師会は9月3日の役員会で「法的根拠を持つ強制加入組織への改組」など計8つの組織強化策を決定した。具体的な組織強化策は、(1)新規会員獲得の勧誘活動、(2)郡市区などの医師会員への都道府県医師会および日本医師会の入会の徹底、(3)日本医師会認証カードの普及、(4)研修医会員の会費無料化、(5)会員情報システムの再構築、(6)理事の勤務医・女性医師などの役員枠の創設、(7)保険医の指定、(8)法的根拠を持つ強制加入組織への改組の計8つ。(1)に近いほど任意度が高く、(8)に近いほど強制度が高いものになると想定している。

(m3.com編集部 2013年9月4日(火) 配信)

astellas

経口用セフェム系製剤 日本薬局方 セフジニルカプセル、セフジニル細粒

セフゾン® 細粒小児用10%
カプセル 50mg
100mg

Cefzon®

【効能・効果】「用法・用量」「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 アステラス製薬株式会社
東京 豊島区 豊島3-17-1
【卸売先】 本社/東京都中央区日本橋本町2-6-1
2013年4月作成 89X127mm

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228
HP:<http://www.jenti.or.jp> E-mail jimu@jenti.or.jp